KOBAYASHI

設置

用紙・リボンのセット

動かす

どうしたのかな?

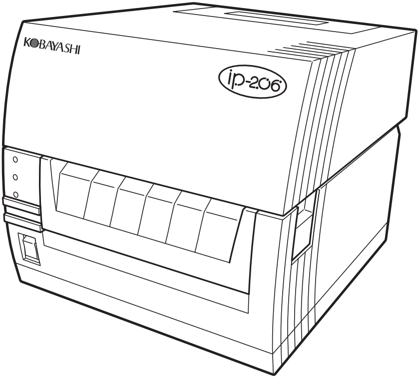
オプション

お手入れ

基本仕様

ip series

取扱説明書



感熱方式専用プリンタ
ip-66

感熱方式 / 熱転写方式兼用プリンタ
ip-206/ip-226

当社純正の用紙・リボンのご使用をお願いします。

小林クリエイト株式会社

はじめに

このたびは、当社 ip シリーズ（以降、「本プリンタ」と呼びます）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
本書は、はじめて本プリンタをお使いになる方に、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。
本書をよくお読みいただき、本プリンタの機能を理解し、正しくお使いください。

電波に関する注意事項

本プリンタは、電波法に基づく技術基準の適合承認を受けています。したがって、本プリンタを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本プリンタは日本国内でのみ使用できます。
以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

・本プリンタを分解 / 改造すること

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

・電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線 LAN 機器の近辺。

本プリンタの使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本プリンタを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本プリンタから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、販売店、または販売ディーラーにご連絡頂き、混信回避のための処理など（例えばパーテションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、本プリンタから移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生したなど何かお困りのことが起きたときは、最寄りの販売店、または販売ディーラーにお問い合わせください。

2.4 FH 1

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	FH − SS 方式
想定干渉距離	10m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

初　版 2013 年　8 月
第 2 版 2014 年 11 月 Q04177001
©2014 小林クリエイト株式会社

ご 注 意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店、または販売ディーラーへご連絡ください。
（4）この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目的別検索ガイド

取…取扱説明書（本書）　セ…セットアップガイド　CD…アクセサリ CD-ROM

◆プリンタを設置する

プリンタを安全に使うために →	取	安全にお使いいただくために（4 ページ）
プリンタの設置 →	取	設置上のご注意（7 ページ）
各部の名称の確認 →	取	各部の名称（10 ページ）
カーボンリボンのセット →	取	カーボンリボンのセット（19 ページ）
ラベルのセット →	取	ラベルのセット（24 ページ）

◆コンピュータと接続する

各種インタフェースの設定 →	セ	セットアップ手順
ネットワークユーティリティ →	CD	プリンタ設定ツール プリンタ設定ツール説明書
プリンタドライバのインストール →	セ	プリンタドライバのインストール方法
	CD	プリンタドライバ説明書

◆プリンタを設定する

プリンタ設定ツール →	CD	プリンタ設定ツール プリンタ設定ツール説明書
動作モードの設定 →	取	ディップスイッチの設定（36 ページ）

◆必要に応じて

うまく発行できないとき →	取	あれ？どうしたのかな（48 ページ）
プリンタのお手入れについて →	取	毎日のお手入れ（56 ページ）
仕様について知りたい →	取	基本仕様（59 ページ）
プリンタドライバのアンインストール →	セ	プリンタドライバのアンインストール方法
フォント・ロゴを作成する →	CD	フォント・ロゴ作成ツール フォント・ロゴ作成ツール説明書
SBPL コマンドを確認する →	CD	SBPL プログラミングガイド

目次

1 安全にお使いいただくために 4
2 設置上のご注意 7
3 同梱品の確認 9
4 各部の名称 10
5 電源を入れてみましょう 14
6 ラベルとカーボンリボンのセット 19
7 動かしてみましょう 35
- 動かしてみる前に 35
- ディップスイッチの設定 36
- 連続印字とティアオフ 37
- 標準インタフェースの接続 38
- オプションインタフェースの接続 39
- ip 互換モードの設定 40
- 用紙センサの自動調整 41
- SD カードの操作 42
- HEX（16 進）ダンプの印字 44
- プリンタの設定内容を印字 44

8 初期設定値 46
9 あれ ? どうしたのかな 48
10 オプションについて 54
11 毎日のお手入れ 56
12 基本仕様 59
13 廃棄方法についてのご案内 64

1 安全にお使いいただくために

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

- プリンタを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示には次のような意味があります。

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠警告

禁止

■ 指定以外の電圧は使用しない

• 指定された電源電圧（AC100～240V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

■ 内部に異物を入れない

• プリンタの開口部（ケーブルの出口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物や水が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、または販売ディーラーにご連絡ください。そのまま使用すると火災•感電の原因になります。

■ 電源コードやケーブルの取り扱いについて

• 電源コードやケーブルを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
• 電源コードやケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線、変形など）販売店、または販売ディーラーにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
• 電源コードやケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
• 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

■ 落としたり、破損したときは

• プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、または販売ディーラーにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

禁止

■ 異常な状態で使用しない

• 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、または販売ディーラーに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

■ オプションケーブルやスキャナの接続について

• オプションのケーブルやスキャナを本プリンタへ接続する場合は、必ずプリンタやオプションの電源を切ってからおこなってください。電源を ON にしたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガをしたり、感電するおそれがあります。
• オプションケーブルやオプション機器を取り付けるときは、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけが、故障のおそれがあります。
• オプションケーブルは、同梱品または推奨品以外を使用しないでください。ケーブルから発煙したり火災、故障の原因になります。

分解禁止

■ 分解しないでください

• プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、または販売ディーラーにご依頼ください。

濡れ手禁止

■ 濡れた手で操作しない

• 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードやケーブルの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。

接触禁止

■ カッタに手やものを入れない

• ケガをするおそれがあります。

火気厳禁

■プリンタ清掃液の取り扱い

• プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対におこなわないでください。

⚠注意

注意

■持ち運び

- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタに指や手を挟まないように注意してください。

■電源コード、ケーブル

- 電源コードやケーブルをコンセントやコネクタから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードやケーブルを持って抜いた場合、芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。
- 電源コードやケーブルに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、電源コードやケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。
- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

■サーマルヘッドの取り扱い

- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意してください。
- お客様によるサーマルヘッドの交換は、おこなわないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。

■ファンフォールド紙のセット

- ウィンドウの開閉をおこなうときは、ケガをしないように注意してください。

■SD カードの取り扱い

- SD カードを落としたり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 水に濡らさないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くに置かないでください。
- コネクタ部を直接触ったり、ゴミやホコリが付着した状態で使用しないようにしてください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 高温多湿のところに保管しないでください。
- 静電気防止のため、輸送・保管時は必ずケースに入れてください。

注意

■プリンタ清掃液の保存

- お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

■持ち運び時のコードの扱い

- 移動されるときは、電源を切り必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。また、プリンタと接続したケーブルを外したことを確認してください。外さないまま移動すると、電源コードやケーブルが傷つき火災・感電の原因になります。

高温注意

■サーマルヘッド（高温注意）

- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃するときは、火傷をしないように注意してください。

手を挟まないよう注意

■カバー

- カバーの開閉には、指を挟まないように注意してください。また、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持ってください。

■用紙のセット

- ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意してください。

電源プラグを抜く

■長期間ご使用にならないとき

- プリンタをご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。

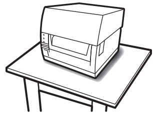
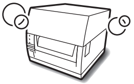
■お手入れ・清掃のとき

- プリンタのお手入れや清掃をするときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。

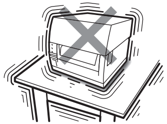
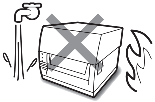
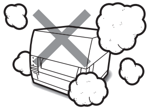
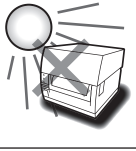
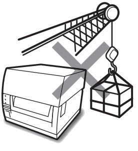
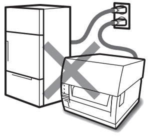
2 設置上のご注意

設置上のご注意

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	以下の温度と湿度の場所
	温度： 5 ～ 35℃ 湿度： 30 ～ 80% RH 

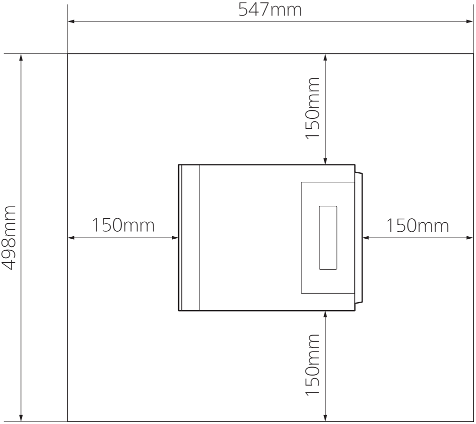
本プリンタは、次のような場所に設置しないでください。プリンタが誤動作を引き起こす可能性があります。

振動のある場所	高温・多湿の場所	ホコリの多い場所
		
直射日光の当たる場所	ノイズの多い場所	電源変動の大きい場所
		

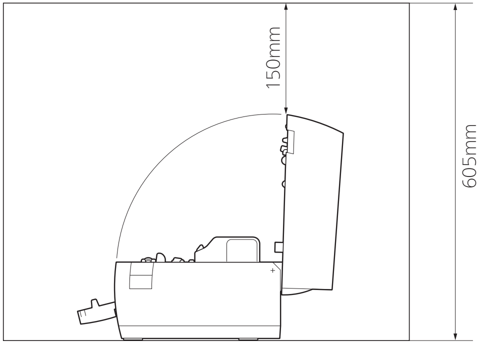
設置スペースについて

プリンタの操作や消耗品の交換、日常のお手入れなどに支障がないよう、下図を参考にスペースを確保し、設置してください。

上面図

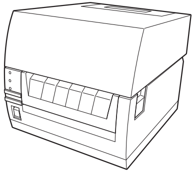


側面図

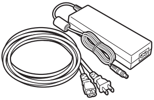


3 同梱品の確認

箱を開けたら、次の同梱品が揃っているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入された販売店または販売ディーラーまでお問い合わせください。

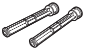


本プリンタ

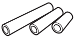


ACアダプタと電源コード

取扱説明書（本書）と
セットアップガイド

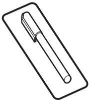


リボンアダプタ（2本）
※リボン支管およびリボンアダプタは
熱転写仕様にのみ同梱されています。

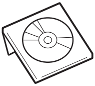


リボン支管（3本）

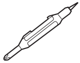
保証書



クリーニングペン

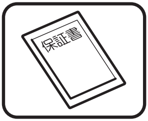


アクセサリCD-ROM

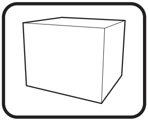


ボリューム調整用ドライバ
※プリンタ本体に同梱されています。

■保証書と箱は大切に



本プリンタは、正常なご使用のもとにおける故障については、納入から 6 か月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、付属の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。



また、本プリンタを梱包していた箱とプリンタ押え（緩衝材）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンタを梱包して送っていただきます。
本プリンタは、オンサイト保守にも対応しております。

4 各部の名称

プリンタ外観

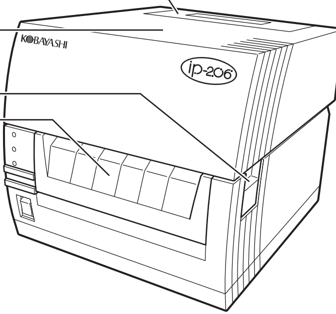
前面部

ウィンドウ
ファンフォールド紙を使用するときに開けます。

トップカバー

オープンレバー

フロントカバー
ディップスイッチやボリュームを操作、エラー番号の確認をするときに開けます。



操作部

POWER ランプ
電源スイッチを入れると点灯（緑色）します。

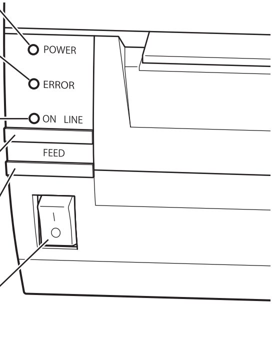
ERROR ランプ
エラーが発生したときに、点灯または点滅（赤色）します。

ON LINE ランプ
点灯（緑色）しているときはデータの受信ができます。

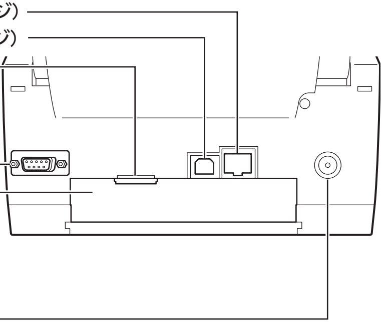
ON LINE キー
発行停止／再開とデータ受信を中止するときに押します。

FEED キー
オフライン状態のときに押すと、用紙を送ることができます。

電源スイッチ
「｜」側が電源 ON です。
「○」側が電源 OFF です。

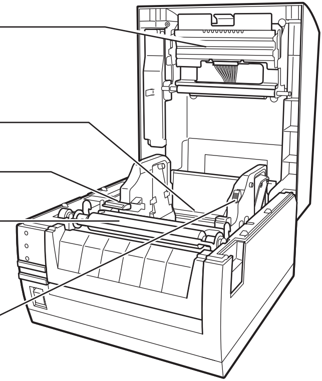


背面部

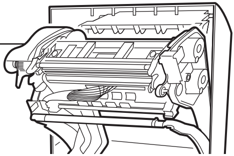


トップカバーオープン時

ip-66（感熱方式）

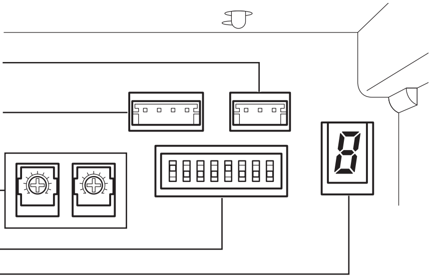


ip-206/ip-226（熱転写方式）

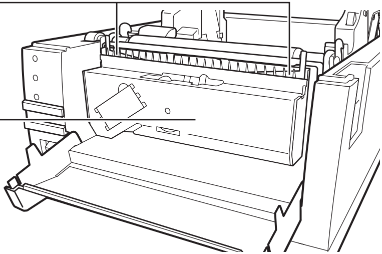


フロントカバーオープン時

フロントカバー内側

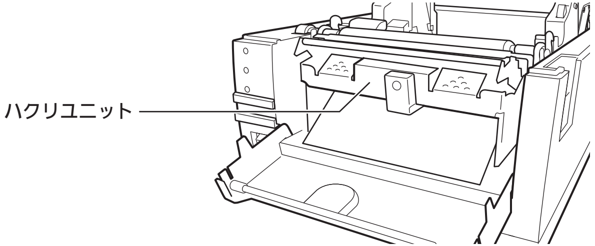


カッタ仕様（オプション）

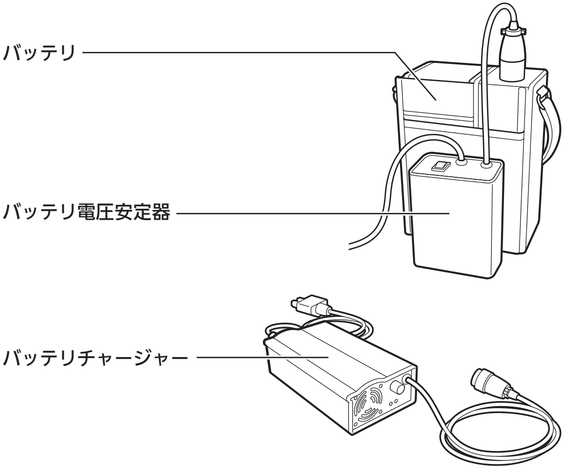


トップカバーの内側にカッタ上刃が装着されています。

ハクリ仕様（オプション）



バッテリ（オプション）



5 電源を入れてみましょう

電源のセット（AC アダプタ）

バッテリ（オプション）をご使用の場合は 15 ページからご覧ください。

⚠ 注意

- 本プリンタ付属の AC アダプタと電源コードは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。また、他の AC アダプタを本プリンタに接続した場合、故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。

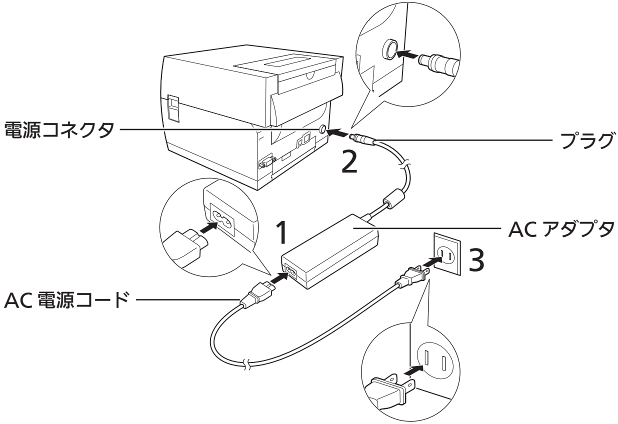
⚠ 警告

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

1. AC 電源コードを AC アダプタにセットします。

2. AC アダプタのプラグを、本プリンタの電源コネクタに接続します。

3. AC 電源コードをコンセントに接続します。



これで電源のセットは完了です。「プリンタの電源を入れてみましょう」をご覧ください。（☞ 16 ページ）

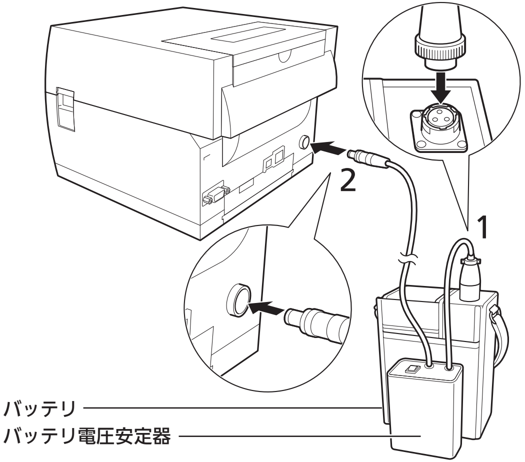
電源のセット（バッテリ（オプション））

⚠ 警告

- 濡れた手で本プリンタおよびバッテリ電圧安定器の電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

1. バッテリ電圧安定器のコネクタ（バッテリ用）をバッテリに接続します。コネクタ（バッテリ用）の向きに注意して差し込んでください。

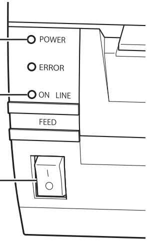
2. バッテリ電圧安定器のコネクタ（プリンタ用）を本プリンタにセットします。



バッテリを電源に使用する場合、同梱のアクセサリ CD-ROM 内にある「レスプリ V/V-ex プリンタ設定ツール」を使用して、「バッテリ動作モード指定」を「バッテリ動作」に設定してください。

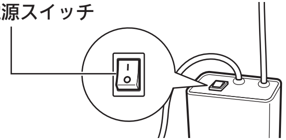
プリンタの電源を入れてみましょう

本プリンタの電源スイッチを入れます。
「｜」側が ON です。
電源スイッチを入れると POWER ランプが点灯します。
（ON LINE ランプも点灯します）



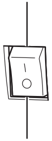
バッテリ（オプション）をご使用の場合

バッテリ電圧安定器→本プリンタの順に電源スイッチを入れてください。
「｜」側が ON です。



電源を切りましょう

本プリンタの電源が正常に入ったことを確認したら、電源を切ってみましょう。
「○」側が OFF です。



バッテリ（オプション）の充電

バッテリチャージャー（オプション）にバッテリを取り付けて充電します。

⚠ 注意

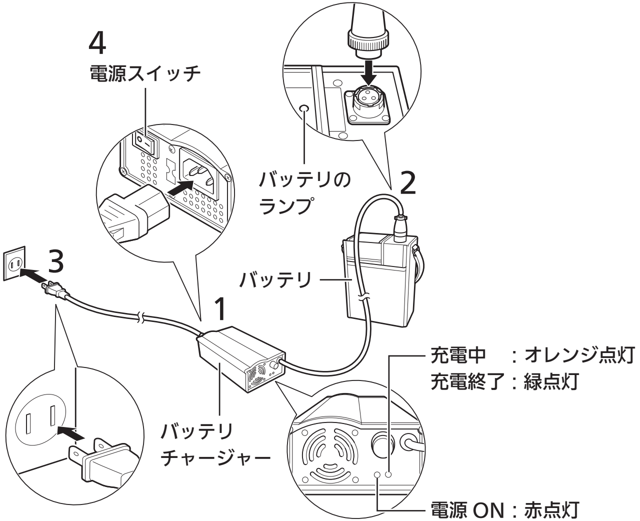
- 本プリンタのバッテリチャージャーセット（オプション）は、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

1. 電源コードをバッテリチャージャーにセットします。

2. バッテリチャージャーのコネクタをバッテリに接続します。コネクタの向きに注意して差し込んでください。

3. 電源コードをコンセントに接続します。

4. バッテリチャージャーの電源スイッチを入れます。「｜」側が ON です。電源を入れるとバッテリチャージャーのランプが赤色に点灯し、充電が始まるとオレンジ色に点灯します。充電が終了すると、ランプが緑色に点灯します。



5. **充電が終了したら、バッテリチャージャーの電源スイッチを切り、バッテリチャージャーのコネクタを取り外します。**

- バッテリの残量が少なくなると、本プリンタのエラー表示ランプに「L」が点滅します。充電の準備をしてください。
- バッテリ残量が空の状態からバッテリチャージャーのランプが緑点灯（充電終了）になるまでに約 5 時間かかります。
- バッテリチャージャーのランプが赤色に点灯していないときは、バッテリチャージャーの電源コードがしっかり取り付けられているか確認してください。しっかり取り付けられていないと、充電されないことがあります。
- すでに充電を完了しているバッテリを取り付けたときは、バッテリチャージャーのランプが 1 度オレンジ色に点灯してから緑色に点灯します。
- バッテリチャージャーのランプがオレンジ色の点滅になると、バッテリ異常のおそれがあります。販売店、または販売ディーラーにお問い合わせください。

6 ラベルとカーボンリボンのセット

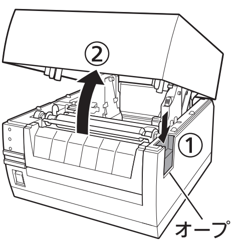
本プリンタには、当社純正のカーボンリボンのご使用をお願いします。
カーボンリボンを交換する場合は、23 ページをご覧ください。

カーボンリボンのセット（熱転写方式のみ）

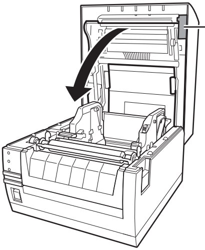
⚠ 注意

- 印字終了直後はサーマルヘッドとその付近が熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は火傷しないように注意しておこなってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意してください。
- カッタ仕様の場合、手を切らないように注意して作業をおこなってください。

1. ①オープンレバーを下に押してロックを解除し、②トップカバーを開けます。



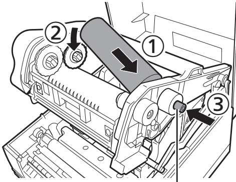
2. リボンユニットの［PULL］マークを引き、リボンユニットを手前に引き出します。



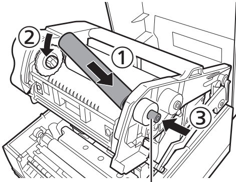
カーボンリボンの幅により、カーボンリボンのセット方法が異なります。
- 幅が 92mm 以上のカーボンリボンの場合、手順 **3** ～ **6**、**12** ～ **13** をお読みください。
- 幅が 76mm 以下のカーボンリボンの場合、手順 **7** ～ **13** をお読みください。（☞ 21 ページ）

幅が 92mm 以上のカーボンリボンの場合

3. ①②カーボンリボンをリボン供給部（奥側）の右側からセット後、③コアガイドを押してロックします。

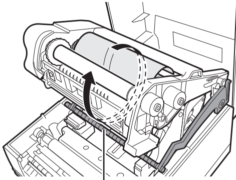


4. ①②リボン支管をリボン巻取り部（手前側）の右側からセット後、③コアガイドを押してロックします。



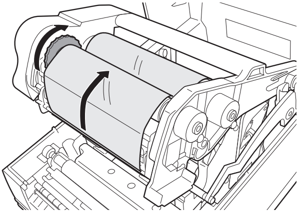
5. カーボンリボンをリボン供給部（奥側）よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部（手前側）へ通します。

カーボンリボンは、必ずサーマルヘッドとラベル押さえの間を通してください。ラベル押さえの下には通さないでください。



6. リボン支管にカーボンリボンをテープなどで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻取ります。

手順 12 へ進んでください。
（☞ 22 ページ）

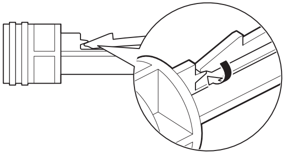


用紙・リボンのセット

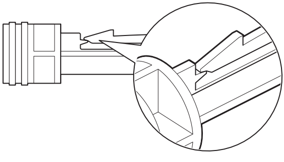
幅が 76mm 以下のカーボンリボンの場合

同梱品のリボンアダプタを使用して、リボンユニットにセットします。

7. カーボンリボンの幅が 76mm または 59mm の場合、リボンアダプタの爪を矢印の方向に回して下にセットします。
カーボンリボンの幅が 45mm の場合、爪の位置は動かさずそのままの状態で使用します。



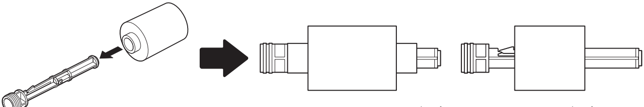
76mm または 59mm の場合



45mm の場合

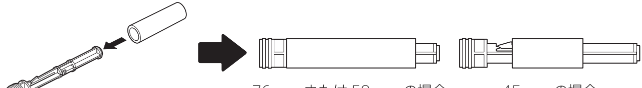
8. カーボンリボンとリボン支管をリボンアダプタにそれぞれセットします。

■カーボンリボン



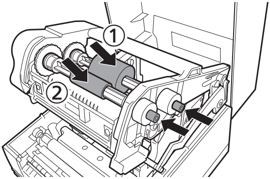
76mm または 59mm の場合　　45mm の場合

■リボン支管



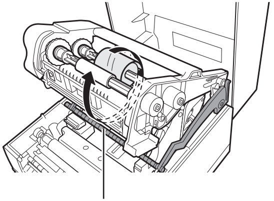
76mm または 59mm の場合　　45mm の場合

9. ①カーボンリボンをセットしたリボンアダプタをリボン供給部（奥側）の右側からセットし、コアガイドを押してロックします。
②リボン支管をセットしたリボンアダプタをリボン巻取り部（手前側）の右側からセットし、コアガイドを押してロックします。



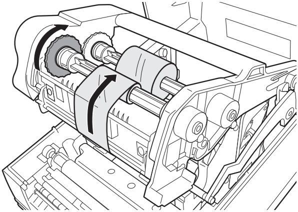
用紙・リボンのセット

10. カーボンリボンをリボン供給部（奥側）よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻取り部（手前側）へ通します。

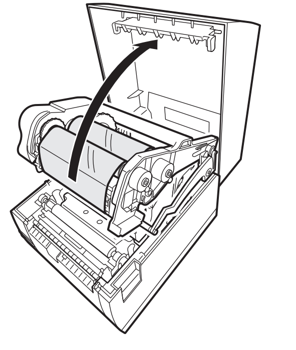


カーボンリボンは、必ずサーマルヘッドとラベル押さえの間を通してください。ラベル押さえの下には通さないでください。

11. リボン支管にカーボンリボンをテープで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻取ります。



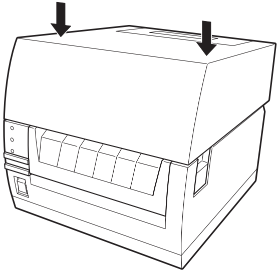
12. リボンユニットをトップカバー内にセットします。



⚠ 注意

- 必ず、リボンユニットをトップカバー内にセットしてから、トップカバーを閉じてください。リボンユニットのみを先に閉じると、トップカバーが正常に閉じない場合があります。
- カッタ仕様の場合、リボンユニットをトップカバー内にセットするときは、カッタ上刃に触れて手を切らないように注意してください。

13. トップカバーを閉じます。
このとき、上面の矢印の部分を押し、“カチッ”と音がするまでしっかりと閉じてください。



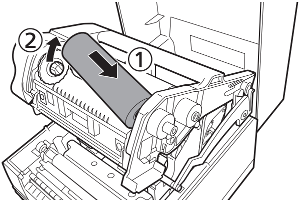
これでカーボンリボンのセットは完了です。

カーボンリボンの交換

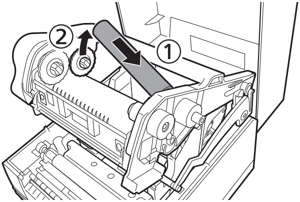
印刷途中の場合は、電源を入れたまま交換します。

1. トップカバーを開き、リボンユニットを手前に引き出します。
（☞ 19 ページ手順 **1** ～ **2**）

2. 使用済みのカーボンリボン（手前側）を①右側に押し、②左側から持ち上げて取り外します。



3. **2** と同じ手順でリボン支管（奥側）を取り外します。



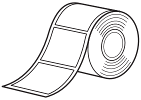
4. 手順 **3** で取り外したリボン支管と、新しいカーボンリボンを本プリンタにセットします。（☞ 20 ～ 23 ページ）

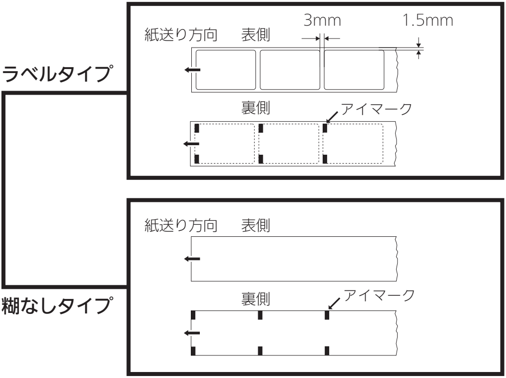
5. ON LINE キーを押してオンライン状態にします。

ラベルのセット

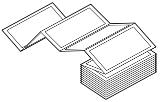
本プリンタは、ロール紙・ファンフォールド紙に印字できます。
ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセット方法が違います。
本プリンタには、当社純正の用紙のご使用をお願いします。
また、用紙の保管は、直射日光、高温、多湿、異常乾燥などを避けてください。

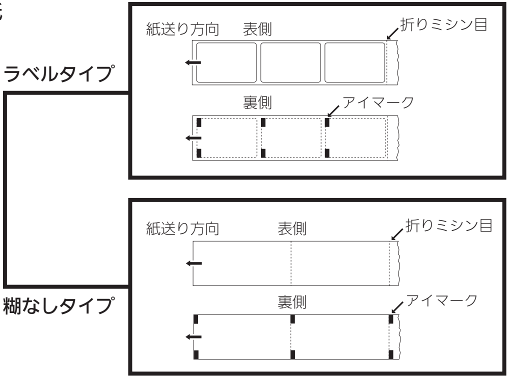
ロール紙





ファンフォールド紙





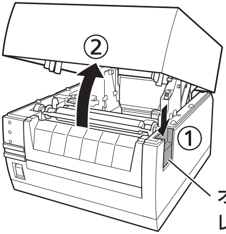
ロール紙のセット

ファンフォールド紙をご使用の場合は 27 ページからご覧ください。
ハクリ仕様（オプション）をご使用の場合は 29 ページからご覧ください。

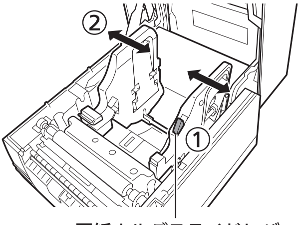
⚠ 注意

- 印字終了直後はサーマルヘッドとその付近が熱くなっています。印字直後の用紙の交換は火傷しないように注意しておこなってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意してください。
- カッタ仕様の場合、手を切らないように注意して作業をおこなってください。

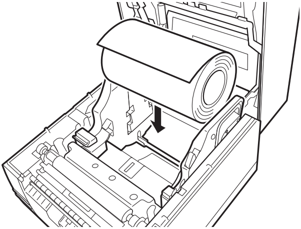
1. ①オープンレバーを下に押してロックを解除し、②トップカバーを開けます。



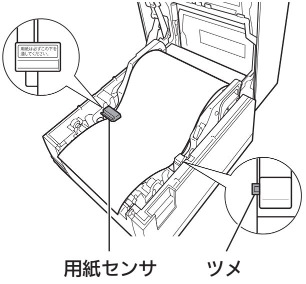
2. ①用紙ホルダスライドレバーを押しながら、②用紙ホルダの幅を調節します。



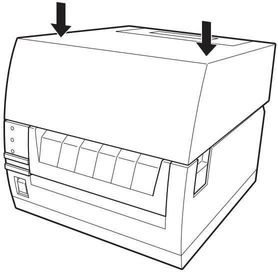
3. 用紙を用紙ホルダにセットします。



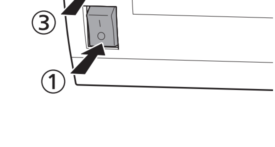
4. 用紙を引き出した後、用紙センサの間とツメの下に用紙を通します。



5. トップカバーを閉じます。
このとき、上面の矢印の部分を押し“カチッ”と音がするまでしっかりと閉じてください。



6. ① プリンタの電源を入れます。
② ON LINE キーを押して、オフライン状態にしてください。
③ FEED キーを押して、用紙の頭出しをします。
④ 再度 ON LINE キーを押して、オンライン状態にしてください。



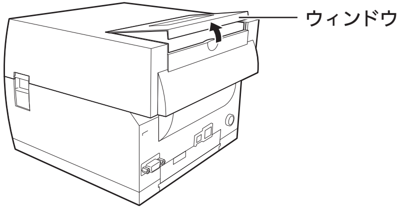
これでロール紙のセットは完了です。

ファンフォールド紙のセット

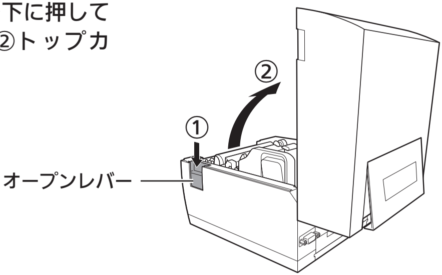
⚠ 注意

- 印字終了直後はサーマルヘッドとその付近が熱くなっています。印字直後の用紙の交換は火傷しないように注意しておこなってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意してください。
- カッタ仕様の場合、手を切らないように注意して作業をおこなってください。

1. ウィンドウを後ろ側から開けます。

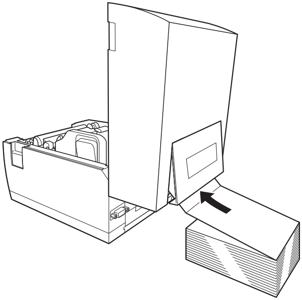


2. ①オープンレバーを下に押してロックを解除し、②トップカバーを開けます。



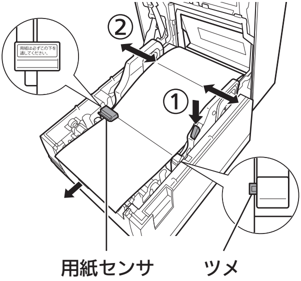
3. 開けたウィンドウから用紙を通します。

ファンフォールド紙の折りたたみ高さは、プリンタ設置面より 100mm 以下にしてください。

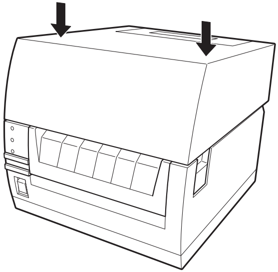


4. ①用紙ホルダスライドレバーを押しながら、②用紙サイズに合せて用紙ホルダを調節します。

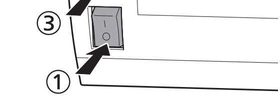
用紙を引き出した後、用紙センサの間とツメの下に用紙を通します。



5. トップカバーを閉じます。
このとき、上面の矢印の部分を押し“カチッ”と音がするまでしっかりと閉じてください。



6. ① プリンタの電源を入れます。
② ON LINE キーを押して、オフライン状態にしてください。
③ FEED キーを押して、用紙の頭出しをします。
④ 再度 ON LINE キーを押して、オンライン状態にしてください。



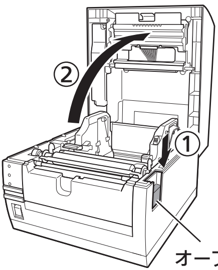
これでファンフォールド紙のセットは完了です。

ロール紙のセット（ハクリ仕様（オプション））

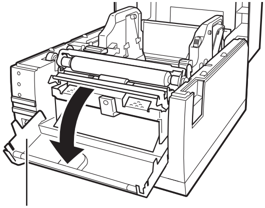
⚠ 注意

- 印字終了直後はサーマルヘッドとその付近が熱くなっています。印字直後の用紙の交換は火傷しないように注意しておこなってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをするおそれがあります。
- トップカバーを閉めるときは、指を挟まないように注意してください。

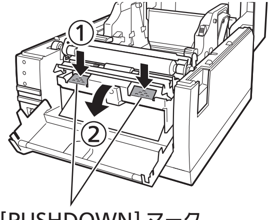
1. ①オープンレバーを下に押してロックを解除し、②トップカバーを開けます。



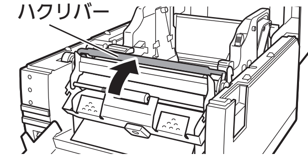
2. フロントカバーを前に開けます。



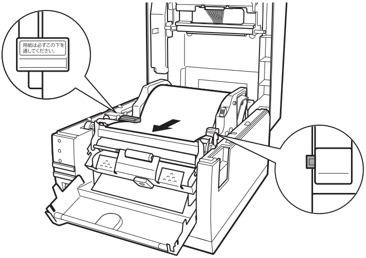
3. ① [PUSHDOWN] マークを下に押しながら前に倒し、②ハクリユニットを開けます。



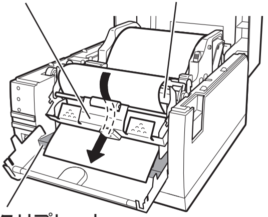
4. ハクリユニットを開けると、自動的にハクリバーが矢印の方向に開きます。



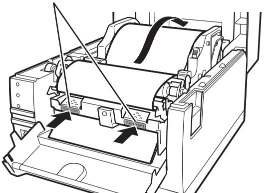
5. 用紙ホルダスライドレバーを押しながら、用紙ホルダの幅を調節します。
先頭のラベルをはがし、15cm 程台紙だけの状態にして、用紙を用紙ホルダにセットします。
用紙を引き出した後、用紙センサの間とツメの下に用紙を通します。



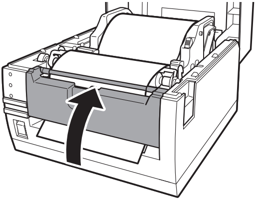
6. ハクリユニットとプラテンローラーの間に台紙を通します。
ハクリプレートより先に出るように台紙をセットします。



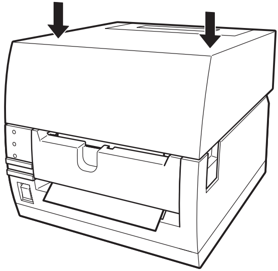
7. ［PUSHDOWN］マークを矢印の方向に押してハクリユニットを閉じます。
台紙がたるんでいる場合は、ラベルを回して巻取り、たるまないようにします。



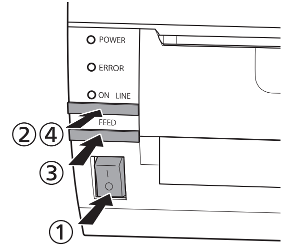
8. フロントカバーを閉じます。



9. トップカバーを閉じます。
このとき、上面の矢印の部分を押し“カチッ”と音がするまでしっかりと閉じてください。



10. ① プリンタの電源を入れます。
② ON LINE キーを押して、オフライン状態にしてください。
③ FEED キーを押して、用紙の頭出しをします。
④ 再度 ON LINE キーを押して、オンライン状態にしてください。



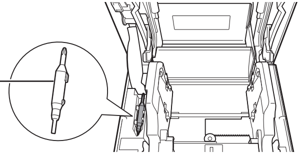
これでロール紙のセット（ハクリ仕様）は完了です。

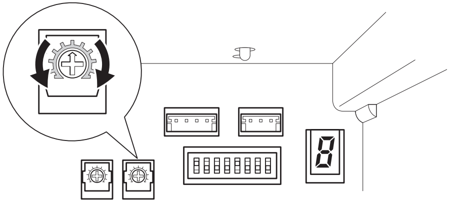
印字位置・ラベル停止位置の微調整

印字位置の微調整

印字の基準位置が適切な位置にない場合、フロントカバー内側にある「印字位置調整ボリューム」で微調整ができます。用紙ホルダ横に添付しているボリューム調整用ドライバのプラス側を使用してください。

左回し：紙送り方向に向かって（プリンタから離れる方向に）印字位置が移動します。
右回し：紙送り方向とは反対に向かって（プリンタに近づく方向に）印字位置が移動します。





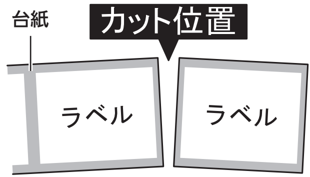
ラベル停止位置およびラベルカット位置について

■ハクリ仕様（オプション）の場合

印字停止時にラベルが 1mm 程度台紙に残る位置が適切な停止位置です。

■ティアオフまたはカッタ仕様（オプション）の場合

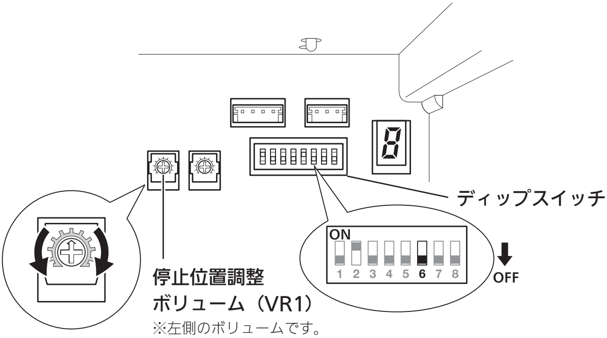
ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間、カストリ（台紙のみの部分）が正しいカット位置です。
ラベル面のカットは、のりがカッタ刃に付いて切れを悪くしますので避けてください。



ラベル停止位置およびラベルカット位置の微調整

ラベルの停止位置およびラベルカット位置が適切な位置にない場合、フロントカバー内側にある「停止位置調整ボリューム」で微調整ができます。停止位置を調整する前に、調整ボリューム右側にあるディップスイッチの 6 番を OFF（下側）にしてください。用紙ホルダ横に添付しているボリューム調整用ドライバのマイナス側でディップスイッチ、プラス側でボリュームを動かしてください。

左回し:現在の位置より前方で（プリンタに近づく方向に）ラベルが停止します。
右回し:現在の位置より後方で（プリンタから離れる方向に）ラベルが停止します。



ディップスイッチの 6 番が ON のときに停止位置調整ボリュームを動かすと印字濃度が変わります。ご注意ください。

以下の項目は本プリンタで使用できる用紙の仕様となりますので、使用する前にご確認ください。

① 用紙厚 (台紙含) は 0.08 ～ 0.19mm です。
　詳しくは、販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
② カット精度は± 1.5mm です。
③ カッタユニットは、カットピッチが 20 ～ 400mm まで有効です。ただし、使用条件によってはカットサイズを制限する場合があります。
④ ボリューム調整後、2 ～ 5 枚程度ラベルを発行することで、カット位置が安定します。

ミシン目のある用紙のカット

ロール紙の場合、ミシン目の上から手前1mmまではカット禁止領域(図1グレー部分)です。
またファンフォールド紙の折りミシン目から＋4〜＋25mmはカット禁止領域(図2グレー部分)です。
この部分でのカットは動作不良の原因となります。
ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするようにボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して停止位置調整用ボリュームの調整をおこないます。(☞ 33ページ)

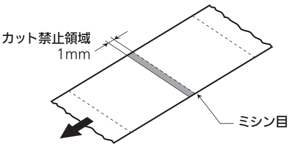


図1　ロール紙の場合

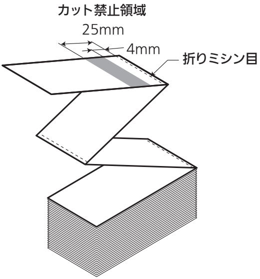


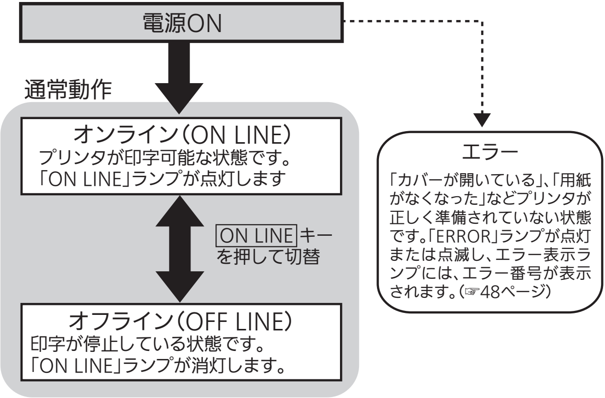
図2　ファンフォールド紙の場合

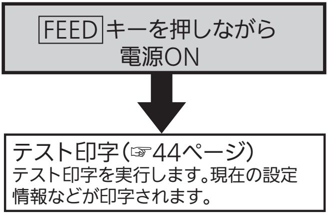
7 動かしてみましょう

本プリンタを動かしてみましょう。本プリンタを動かすのに必要な操作のしかたや機能を覚えてください。

動かしてみる前に

本プリンタの主な操作の流れは以下のようになります。





ディップスイッチの設定

フロントカバー内側にあるディップスイッチは、プリンタの動作を決める重要なスイッチです。
誤った設定をするとプリンタは正常に動作しません。設定が必要な場合には、プリンタの動作をご理解いただいた上で設定してください。

ディップスイッチ設定表

モード切替	SW1	SW2	SW3
連続	OFF	OFF	OFF
ティアオフ	ON	OFF	OFF
カッタ	OFF	ON	OFF
パーシャルカット	ON	ON	ON
ハクリ	ON	ON	OFF
ノンセパ	OFF	OFF	ON
フォントダウンロード	OFF	ON	ON

インタフェース	SW7	SW8
USB	—	—
LAN	OFF	OFF
RS-232C	OFF	ON
IEEE1284 無線 LAN	ON	OFF

印字方式	SW4
熱転写	ON
感熱	OFF

ヘッドチェック	SW5
有効	ON
無効	OFF

VR1 調整選択	SW6
印字濃度調整	ON
オフセット調整	OFF

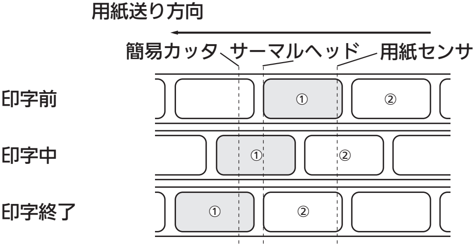
※パーシャルカットは、用紙の一部を残してカットする機能です。
※ノンセパ®とは、台紙のないラベルのことです。ノンセパ®を使用するためには、オプションのノンセパキットが必要です。（ip-66 のみ対応）
※フォントのダウンロードには、同梱のアクセサリ CD-ROM 内にある「フォント・ロゴ作成ツール」を使用します。
※ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証するものではありません。定期的に読取りチェックをお願いします（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります）。
※USB インタフェースは、ディップスイッチの設定にかかわらず使用できます。

連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、オプション（カッタやハクリ）を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

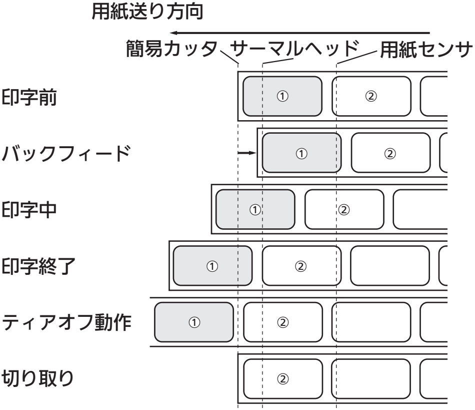
連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、または、１枚フィードのときには、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。



ティアオフ動作モード

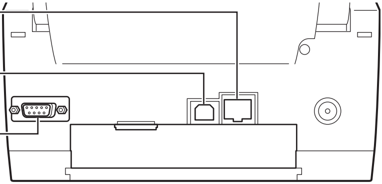
ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間（台紙部）を簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。
この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切り取ることができます。
また、次の印字をおこなうときには、用紙の先端がサーマルヘッド位置までもどり、印字を開始します。



動かす

標準インタフェースの接続

使用するインタフェースによって、フロントカバー内側にあるディップスイッチの設定が必要になる場合があります。（☞ 36 ページ）
接続方法の詳細は同梱の「セットアップガイド」および「レスプリ V/V-ex シリーズプリンタ設定ツール説明書」をご覧ください。



USB インタフェースを使用する場合

プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続し、コンピュータの電源が入った状態でプリンタの電源を入れます。
※ディップスイッチの設定は不要です。
※オプションインタフェースが取り付けられていない状態で、フロントカバー内側にあるディップスイッチの 7 番を ON にした場合、使用するインタフェースを USB のみに固定できます。

LAN インタフェースを使用する場合

フロントカバー内側にあるディップスイッチの7番と8番をOFFにしてください。
※USB ケーブルは接続しないでください。

RS-232C インタフェースを使用する場合

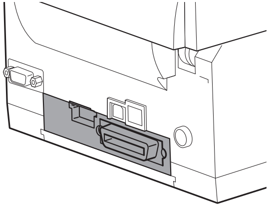
フロントカバー内側にあるディップスイッチの 7 番を OFF、8 番を ON にしてください。
※USB ケーブルは接続しないでください。

オプションインタフェースの接続

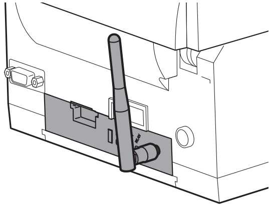
オプションインタフェース（IEEE1284、無線 LAN）を使用する場合には、フロントカバー内側にあるディップスイッチの 7 番が ON になっている必要があります。（出荷時に設定されています）
※ USB ケーブルは接続しないでください。

接続方法の詳細は同梱の「セットアップガイド」および「レスプリ V/V-ex シリーズプリンタ設定ツール説明書」をご覧ください。

IEEE1284 インタフェース



無線 LAN インタフェース



■ランプの状態について

・LEVEL（電界強度）
　消灯：弱 / 点滅：中 / 点灯：強
　※ Ad Hoc モードの場合は常に消灯
・LINK（アクセスポイントへの接続）
　点滅：未接続 / 点灯：接続中
・ACT（データ受信）
　データを受信したときに点滅
・WLAN（無線 LAN モード）
　点滅：Ad Hoc / 点灯：Infrastructure

ip 互換モードの設定

本機能は、ip シリーズ（ip65/ip-205/ip-225 を除く）プリンタがすでに導入されている環境に ip-66/ip-206/ip-226 プリンタを追加導入や置換え導入した際に設定します。
ip-66/ip-206/ip-226 プリンタをレスプリシリーズのプリンタドライバと接続する場合、「ip 互換モード」に切替える必要があります。

ip 互換モードの各インタフェースの設定は下表のとおりです。

	標準モード	ip 互換モード
① USB インタフェース接続	OS 標準 USB 印刷サポート （レスプリ V シリーズ プリンタドライバ専用）	SATO USB ポート （レスプリシリーズ プリンタドライバ専用）
② LAN インタフェース通信プロトコル初期値	ENQ 応答ステータス	周期応答ステータス

通信プロトコルの設定は、レスプリ V/V-ex シリーズプリンタ設定ツール*を使用して切替えることができます。

ip 互換モードの設定は、レスプリ V/V-ex シリーズプリンタ設定ツール*を使用して設定するか、または以下の操作をして設定してください。

①トップカバーを開きます。
②フロントカバーを開いて、ディップスイッチの 1、2、3 番の設定をメモしておきます。
③ディップスイッチの 1 番を OFF、2 番を ON、3 番を OFF にします。
④トップカバーを閉じます。
⑤ ON LINE キー、 FEED キーを押しながら電源を入れます。エラー表示ランプに「c」が表示されるまで ON LINE キー、 FEED キーを押しつづけます。
⑥キーを離してランプ表示が「0」になったら、 ON LINE キーを押します。
⑦ランプ表示が「1」になったら、 FEED キーを押します。（設定実行）
⑧設定が終了するとブザーが 1 回鳴ります。
⑨電源を切ってください。
⑩ディップスイッチの設定を、②でメモした設定に戻します。

これで ip 互換モードの設定は完了です。

手順⑥では、エラー表示ランプに現在の設定値が表示されます（0= 標準モード、1=ip 互換モード）。手順⑥で ON LINE キーを押してランプ表示を「1」から「0」にした後、 FEED キーを押すと ip 互換モードから標準モードに戻すことができます。

＊ レスプリ V/V-ex シリーズプリンタ設定ツールの使用方法は、同梱のアクセサリ CD-ROM 内にある「レスプリ V/V-ex シリーズプリンタ設定ツール説明書」をご覧ください。

用紙センサの自動調整

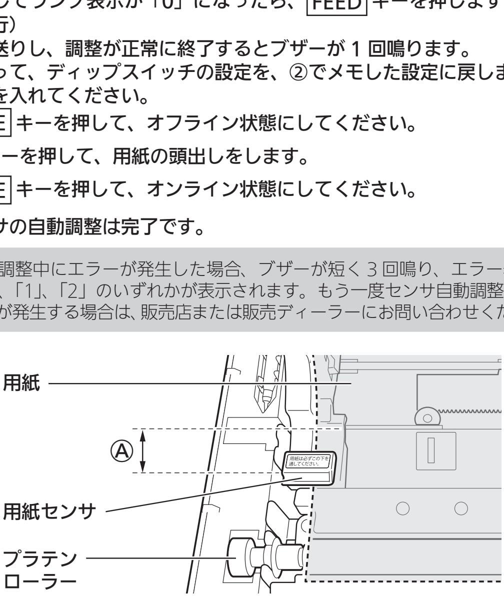
本プリンタは、用紙を検知するセンサ（反射センサ、透過センサ）のレベル調整機能を搭載しています。紙送りがとまらないなど、用紙の検知がうまくいかない場合に実行してください。以下の操作をすることで用紙センサの自動調整ができます。なお､本プリンタには当社純正用紙のご使用をお願いします。台紙にアイマーク (黒いマーク) のあるラベルは、長さ 30mm 以上のラベルをご使用願います。

①トップカバーを開きます。
②フロントカバーを開いて、ディップスイッチの 1、2、3 番の設定をメモしておきます。
③ディップスイッチの 1 番を ON、2 番を OFF、3 番を OFF にします。
④用紙先端のラベルを約 8cm 分はがし、用紙センサの間にラベルをはがした台紙を通します。用紙先端がプラテンローラーにかかるように用紙をセットしてください。
また、図 1 のⒶの範囲にアイマークがかからないようにしてください。
⑤トップカバーを閉じます。
⑥ ON LINE キー、 FEED キーを押しながら、電源を入れます。エラー表示ランプに｢b｣が表示されるまで ON LINE キー､ FEED キーを押しつづけます。
⑦キーを離してランプ表示が「0」になったら、 FEED キーを押します。（センサ調整実行）
⑧自動で紙送りし、調整が正常に終了するとブザーが 1 回鳴ります。
⑨電源を切って、ディップスイッチの設定を、②でメモした設定に戻します。
⑩再度電源を入れてください。
⑪ ON LINE キーを押して、オフライン状態にしてください。
⑫ FEED キーを押して、用紙の頭出しをします。
⑬ ON LINE キーを押して、オンライン状態にしてください。

これでセンサの自動調整は完了です。

センサ自動調整中にエラーが発生した場合、ブザーが短く 3 回鳴り、エラー表示ランプに「0」､「1」､「2」のいずれかが表示されます。もう一度センサ自動調整を試みてもエラーが発生する場合は､販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。

図1



動かす

SD カードの操作

本プリンタは、プリンタの設定情報を SD カードに保存し、別の ip-66/ip-206/ip-226 で読み込むことができます。
SD カードは必ず本プリンタで初期化したものをご使用ください。(☞ 43 ページ)

SD カードへプリンタ設定情報の保存

プリンタの設定情報は、電源を切ったときに自動で SD カードに保存されますが(出荷時設定)、以下の操作をすることで手動で保存することもできます。

①SD カードスロットに SD カードをセットします。
②トップカバーを開きます。
③フロントカバーを開いて、ディップスイッチの 1、2、3 番の設定をメモしておきます。
④ディップスイッチの 1 番を ON、2 番を ON、3 番を OFF にします。
⑤トップカバーを閉じます。
⑥ ON LINE キー、 FEED キーを押しながら、電源を入れます。エラー表示ランプに「d」が表示されるまで ON LINE キー、FEED キーを押しつづけます。
⑦キーを離してランプ表示が「0」になったら、 ON LINE キーを押します。
⑧ランプ表示が「1」になったら、 FEED キーを押します。(手動保存へ切替)
⑨ランプ表示が「n」になったら、 ON LINE キーを押します。
⑩ランプ表示が「y」になったら、 FEED キーを押します。(手動保存の実行)
⑪SD カードへプリンタの設定情報が保存されます。
⑫保存が正常に終了すると、ブザーが 1 回鳴りランプ表示が消えます。
⑬電源を切ってください。
⑭ディップスイッチの設定を、③でメモした設定に戻します。

これでプリンタ設定情報の保存は完了です。

手順⑦では、エラー表示ランプに現在の設定値が表示されます(0= 自動保存、1= 手動保存)。手順⑦で ON LINE キーを押してランプ表示を「1」から「0」にした後、 FEED キーを押すと手動保存から自動保存に戻すことができます。

SD カードからプリンタ設定情報の読込み

以下の操作をすることで、SD カードに保存されている設定情報を本プリンタに読み込むことができます。

①SD カードスロットに SD カードをセットします。
②トップカバーを開きます。
③フロントカバーを開いて、ディップスイッチの 1、2、3 番の設定をメモしておきます。

④ディップスイッチの 1 番を OFF、2 番を OFF、3 番を OFF にします。
⑤トップカバーを閉じます。
⑥ ON LINE キー、FEED キーを押しながら、電源を入れます。エラー表示ランプに「a」が表示されるまで ON LINE キー、FEED キーを押しつづけます。
⑦キーを離してランプ表示が「n」になったら、ON LINE キーを押します。
⑧ランプ表示が「y」になったら、FEED キーを押します。（読込みの実行）
⑨SD カードに保存されている設定情報がプリンタに読み込まれます。
⑩読込み完了後、プリンタは自動的に再起動しテスト印字をおこないます。このとき、用紙がセットされていない場合はペーパーエンドエラーが発生します。
⑪テスト印字終了後、プリンタはオンライン状態になります。
⑫電源を切ってください。
⑬ディップスイッチの設定を、③でメモした設定に戻します。

これでプリンタ設定情報の読込みは完了です。

SD カードの初期化

以下の操作をすることで SD カードの初期化ができます。

①SD カードスロットに SD カードをセットします。
②トップカバーを開きます。
③フロントカバーを開いて、ディップスイッチの 1、2、3 番の設定をメモしておきます。
④ディップスイッチの 1 番を OFF、2 番を OFF、3 番を ON にします。
⑤トップカバーを閉じます。
⑥ ON LINE キー、FEED キーを押しながら、電源を入れます。エラー表示ランプに「e」が表示されるまで ON LINE キー、FEED キーを押しつづけます。
⑦キーを離してランプ表示が「n」になったら、ON LINE キーを押します。
⑧ランプ表示が「y」になったら、FEED キーを押します。（初期化実行）
⑨初期化が終了するとブザーが 1 回鳴ります。
⑩電源を切ってください。
⑪ディップスイッチの設定を、②でメモした設定に戻します。

これで SD カードの初期化は完了です。

HEX（16 進）ダンプの印字

HEX ダンプの印字とは、コンピュータからプリンタに送られたデータを 16 進数で印刷することです。コンピュータのデータがプリンタに正しく転送されているかどうか確認する場合などに使用します。

1. 電源を切り、トップカバーを開けます。
2. トップカバーを開けたまま、FEED キーを押しながら電源を入れてください。プリンタがデータ受信待ちの状態になります。
3. トップカバーを閉じた後、ON LINE キーを押して ON LINE ランプを点灯させます。
4. コンピュータからデータを受信すると、HEX ダンプの印字を開始します。
5. 印字終了後はプリンタの電源を切ってください。

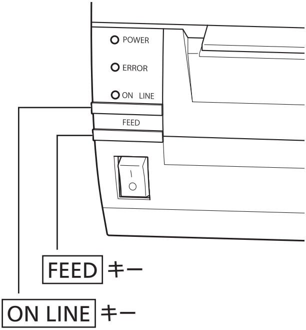
プリンタの設定内容を印字

現在プリンタに設定されている内容を印字して、印字動作の確認をしましょう。

1. FEED キーを押しながら電源を入れます。
2. ブザーが鳴りますので、次のキーを押してください。
   ON LINE キー：大きいサイズで印字
   FEED キー：小さいサイズで印字

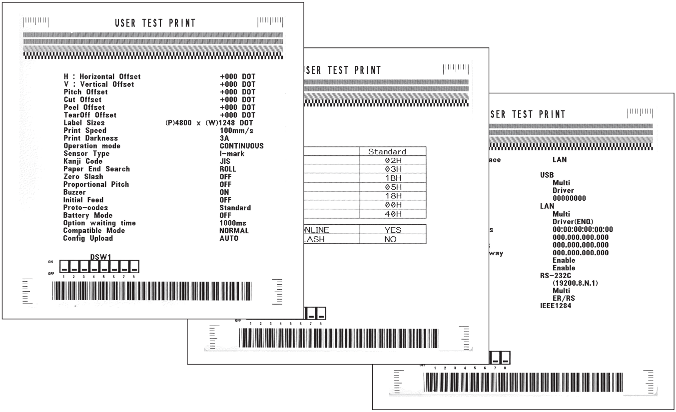
   印字中に FEED キーを押すと印字が停止／再開します。

   ※無線 LAN インタフェース（オプション）を取付けている場合は、無線 LAN インタフェースの ACT ランプの点滅が消えてから、ON LINE キーまたは FEED キーを押してください。



3. 印字を終了するときには、FEED キーを押して印字を停止させてから電源を切ってください。

テスト印字のサンプル



※印字内容は、プリンタの仕様によって異なる場合があります。

8 初期設定値

本プリンタの主な初期設定値は下表のとおりです。
プリンタの設定項目と設定値は同梱のアクセサリ CD-ROM 内にある「レスプリ V/V-ex シリーズプリンタ設定ツール」やテスト印字（☞ 44 ページ）で確認できます。

項目	ip-66/ip-206	ip-226
1. 印字方式	感熱（ip-66） 熱転写（ip-206/ip-226）	
2. ヘッド密度	203dpi	305dpi
3. 印字速度	4 インチ /s（100mm/s）	
4. 印字動作	標準仕様：ティアオフ カッタ仕様：カッタ ハクリ仕様：ハクリ ノンセパ仕様：ノンセパ	
5. カッタ動作	動作 1（ヘッド位置）	
6. ハクリ動作	動作 1（ヘッド位置）	
7. ノンセパ動作	動作 2（カッタ位置）	
8. 印字濃度	A（ip-66） B（ip-206/ip-226）	
9. 印字濃度レベル	濃度 3 普通	
10. センサ種	反射センサタイプ：アイマーク	
11. ゼロスラッシュ	無効	
12. 漢字コード	JIS コード	
13. 用紙仕様	のり付ラベル	
14. 初期フィード	無効	
15. プロポーショナルピッチ	固定ピッチ指定	
16. 縦用紙サイズ	400.0 mm	
17. 横用紙サイズ	104.0 mm	
18. 縦印字基点補正	0 dot	
19. 横印字基点補正	0 dot	
20. 連続動作オフセット	0 dot	
21. ティアオフ動作オフセット	0 dot	
22. カッタ動作オフセット	0 dot	
23. ハクリ動作オフセット	0 dot	
24. ラベル間ギャップ	24 dot	36 dot
25. ブザー音	あり	
26. 印字位置互換	互換なし	
27. バッテリ動作モード指定	通常動作	
28. オプション動作待機時間	10 ms x 100 (1000ms)	

項目	ip-66/ip-206	ip-226
29. ヘッドチェック	有効	
30. ヘッドチェック範囲	通常	
31. ヘッドチェック方法	単枚チェック	
32. ヘッドチェック枚数	1	
33. LAN の設定	RARP を使用する DHCP を使用する 通信プロトコル：ステータス 4（ENQ 応答）	
34. 無線 LAN の設定	動作モード：アドホック SSID：SATO_PRINTER チャンネル：06 IP アドレス：192.168.1.1 サブネットアドレス：255.255.255.0 ゲートウェイアドレス：192.168.1.2 通信プロトコル：ステータス 4（ENQ 応答） Socket 接続タイムアウト：60 秒 FTP タイムアウト：30 秒 LPD タイムアウト：30 秒 Association threshold：85 Roaming threshold：80 セキュリティ：なし	
35. RS-232C の設定	ポートレート：19200 データビット：8 ビット パリティ：パリティなし ストップビット：1 ビット フロー制御：ステータス 4	
36. IEEE1284 の設定	受信モード：マルチ受信 ACK 幅：500ns	
37. ノンスタンダードの設定	スタンダード、ノンスタンダードの設定：スタンダードコード	
38. その他の設定	USB シリアル No. 返送：シリアル No. を返送する 旧プリンタ互換モード：OFF：標準	

9 あれ？どうしたのかな

エラー番号表示一覧

本プリンタにエラーが発生して印刷できない場合は、エラー表示ランプにエラー番号が表示されます。本プリンタのエラー番号とその原因、対処方法は次の表のとおりです。

エラー番号	原　因	対処方法
0	FLASH ROM 読み込み・書き込みオーバーまたは書き込み回数オーバーです。	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
2	基板不良	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
3	設定情報の読み込み・書き込みエラー	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
4	サーマルヘッドが断線しています。	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
5	サーマルヘッドまたはトップカバーがロックされていません。	トップカバーの上面の両側を押して“カチッ”と音がするまで閉じてください。
6	用紙がなくなりました。	新しい用紙をセットしてください。
7	センサ種類が適切ではありません。またはセンサレベルが合っていません。	プリンタ設定ツールで適切なセンサ種類を設定してください。または用紙センサの自動調整をおこなってください。それでもエラーが解除されないときは販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
8	カッタが接続されていません。またはカットが正常におこなわれませんでした。	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
8.	プログラムエラー	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
9	カーボンリボンがなくなりました。またはカーボンリボンが切れています。	カーボンリボンを正しくセットしてください。
Ab cd	コンピュータから送られてくるデータ量が多すぎます。 コンピュータとの通信条件設定に不都合があります。	電源を入れ直してください。コンピュータのソフトウェアデータ量が通信条件に合うように調整してください。 それでもエラーが解除されないときは通信条件の確認をおこなってください。
C	SD カードエラー	SD カードを挿入、交換またはカードのライトプロテクトを解除してください。 SD カードは本プリンタで初期化したものをご使用ください。

エラー番号	原　因	対処方法
E	プリンタとコンピュータ間の通信ができませんでした。	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
F	SD カードエラーまたはダウンロードデータエラー	プリンタの設定情報が保存してある SD カードを挿入してください。 SD カードは本プリンタで初期化したものをご使用ください。 それでもエラーが解除されないとき、または SD カードを使用していないときは、販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
h （点滅）	サーマルヘッドの過熱保護機能が働いています。	エラー表示が消えるまでお待ちください。
H	漢字 ROM からの読み込みが正常におこなわれませんでした。	販売店または販売ディーラーにお問い合わせください。
L *	バッテリがなくなりました。	バッテリを充電してください。
P （点滅）	AC アダプタの保護機能が働いています。	エラー表示が消えるまでお待ちください。

＊バッテリの残量が少なくなると、「L」を点滅表示します。

こんなときは

エラーは出ていないけど、プリンタが思うように動作しない、印字結果が良くないという場合は、次のことを確認してみてください。

■電源を入れてもランプが点灯しない

	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードをコンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本プリンタに電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを本プリンタの電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	バッテリ（オプション）をお使いの場合は、バッテリの充電残量が空の状態ではありませんか？	付属のバッテリチャージャーを使って、チャージャーランプが緑点灯になるまで充電してください。
4	電源コードが傷んでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店または販売ディーラーで必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタ専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
5	本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。
6	建物の電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。

⚠ 注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作、電源コードの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

■紙送りはするけど印字されない

	【確認してください】	【直しかた】
1	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 金属物でのラベル除去は避けてください(サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります)。このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。 (☞ 56 ページ)
2	本プリンタ用の当社純正の用紙・カーボンリボンを使っていますか？	本プリンタには、当社純正の用紙・カーボンリボンのご使用をお願いします。
3	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。 (☞ 56 ページ)
4	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか。	コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

＊プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際は販売店、または販売ディーラーへお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

■きれいに印字しない

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンが正しくセットされているか調べてください。また、トップカバーを開けて、用紙が正常な位置にとまっているか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	プリンタ設定ツールやコマンド操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。（☞ 56 ページ）
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 金属物でのラベル除去は避けてください (サーマルヘッドを傷つけるおそれがあります)。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、プリンタクリーニングセット*でふき取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。 (☞ 56 ページ)
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本プリンタ用の当社純正の用紙・カーボンリボンを使っていますか？	本プリンタには、当社純正の用紙・カーボンリボンのご使用をお願いします。

＊プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際は販売店、または販売ディーラーへお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

どうしたのかな？

■印字位置がずれる

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンが正しくセットされているか調べてください。 また、トップカバーを開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にとまるようにセットし直してください。
2	プラテンローラーが汚れていませんか？	プラテンローラーが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」をご覧ください。（☞ 56 ページ）
3	型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？	用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。
4	本プリンタ用の当社純正の用紙・カーボンリボンを使っていますか？	本プリンタには、当社純正の用紙・カーボンリボンのご使用をお願いします。
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、プリンタクリーニングセット*で汚れをふき取ってください。 「毎日のお手入れ」をご覧ください。（☞ 56 ページ）
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。 それでもメッセージが表示されたら、コンピュータから送られてくる内容や通信条件の確認をしてください。
7	ピッチ補正または、基点補正（プリンタ設定）の内容がおかしくありませんか？	ピッチ補正または、基点補正（プリンタ設定）の内容を設定し直してください。

＊プリンタクリーニングセットはオプションです。ご購入の際は販売店、または販売ディーラーへお問い合わせください。

⚠ 注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いておこなってください。

10 オプションについて

本プリンタではお客様のニーズにお応えできるように、以下のオプションを用意しております。

■カッタ仕様 / カッタユニット（☞ 12 ページ）

用紙をカットするカッタユニットをプリンタに取り付けたタイプです。

■ハクリ仕様 / ハクリユニット（☞ 13 ページ）

台紙からラベルをはがすハクリユニットをプリンタに取り付けたタイプです。

■ノンセパキット

ノンセパ®を使用できます。ノンセパ®とは台紙のないラベルのことです。
※ ip-66 のみ対応

■ SD カード（☞ 42、55 ページ）

プリンタの設定情報を SD カードに保存し、別の ip-66/ip-206/ip-226 で読み込むことができます。

■外部バッテリ（☞ 13、15、17 ページ）

外部バッテリを使うと、電源コンセントが利用できないところでも本プリンタをご使用になれます。

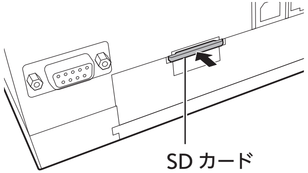
■オプションインタフェース（☞ 39 ページ）

IEEE1284 / 無線 LAN の 2 種類のインタフェースを用意しております。
※複数のオプションインタフェースを同時に取り付けることはできません。

SD カードの取り付け・取り外し方

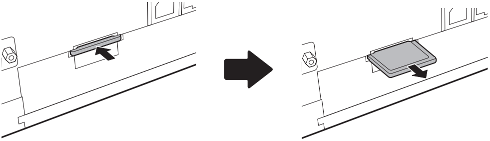
SD カードの取り付け方

①プリンタの電源を切ってください。
②プリンタ背面のSDカードスロットに、挿入方向を確認し、SD カードを奥まで差し込みます。
※SD カード挿入時は、エラー表示ランプに「.」が表示されます。



SD カードの取り外し方

①プリンタの電源を切ってください。
②プリンタ背面のSDカードスロットに挿入されているSDカードを奥まで押し、指を離します。カードが少し出ますので、取り出します。



11 毎日のお手入れ

本プリンタは大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字がきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*、ラッピングシート*を使って定期的に清掃してください。

⚠ 警告

- サーマルヘッドやプラテンローラーを清掃するときは、必ず電源を切ってください。感電するおそれがあります。

お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次のとおりです。

■クリーニングペン、プリンタクリーニングセット*でのお手入れ（サーマルヘッド・プラテンローラー・用紙センサ）

・用紙 1 巻おき、あるいは用紙 50 メートル印字ごと

■ラッピングシート*でのお手入れ（サーマルヘッド）

・用紙 6 巻おき、あるいは用紙 300 メートル印字ごと

※上記クリーニング時期は目安ですので、汚れの程度に応じてクリーニングをおこなってください。

お手入れのときの注意

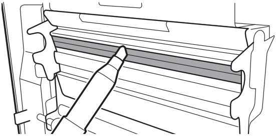
- **各部の清掃には、クリーニングペンやプリンタクリーニングセット*、ラッピングシート*をご使用ください。**
- **ドライバなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つけるおそれがあります。**
  特に、サーマルヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- **電源は必ず切ってからおこなってください。**

＊プリンタクリーニングセット、ラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、販売店または販売ディーラーへお問い合わせください。

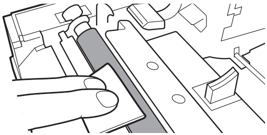
お手入れのしかた（1）

クリーニングペンやプリンタクリーニングセット＊を使って、次の部分を清掃してください。
用紙・カーボンリボンを取り外してから清掃をおこなってください。

サーマルヘッドのクリーニング

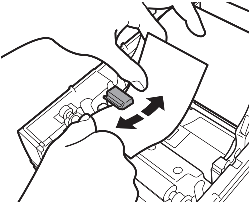


プラテンローラーのクリーニング



・クリーニングペンでサーマルヘッドの汚れを拭き取ります。
・プリンタ清掃液を綿布に浸して、プラテンローラーの汚れを拭き取ります。

用紙センサのクリーニング



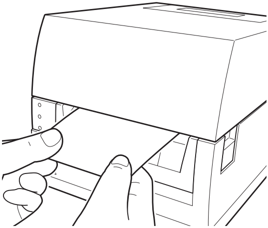
・プリンタ清掃液を綿布に浸して、用紙センサの汚れを拭き取ります。

＊プリンタクリーニングセット、ラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、販売店または販売ディーラーへお問い合わせください。

お手入れのしかた（2）

ラッピングシート*を使ってサーマルヘッドを清掃してください。
ラッピングシート*は、ザラザラしている面がサーマルヘッド側になるように挟んでください。

ラッピングシートを使用



1. トップカバーを開け、ラベルおよびカーボンリボンを取り外し、サーマルヘッド部分が見えるようにします。

2. ラッピングシート*をサーマルヘッドとプラテンローラーの間に挟み、トップカバーを閉じます。

3. 両手でラッピングシート*を手前に引きます。これを 2 ～ 3 回繰返してサーマルヘッドの付着カスを除去してください。まだカスが残っているときは、さらに数回繰返してください。

4. サーマルヘッドの印字面をクリーニングペンで清掃してください。

＊ラッピングシートはオプションです。ご購入の際は、販売店または販売ディーラーへお問い合わせください。

＊ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付している「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

12 基本仕様

モデル名	ip-66/ip-206	ip-226
印字方式	ip-66：感熱方式専用　ip-206/ip-226：感熱方式 / 熱転写方式兼用	
ヘッド密度 （解像度）	8dot/mm（203dpi）	12dot/mm（305dpi）
印字有効エリア	最大 長さ 400mm ×幅 104mm	
印字速度	2 〜 6 インチ / 秒 （50.8 〜 152.4mm/ 秒）	2 〜 4 インチ / 秒 （50.8 〜 101.6mm/ 秒）
	※印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては速度を制限する場合があります。	
印字禁止領域	長さ方向　上：1.5mm 以下、下：1.5mm 以下（台紙含まず） 幅方向　　左：1.5mm 以下、右：1.5mm 以下（台紙含まず）	
用紙形態	ロール紙、ファンフォールド紙 ※当社純正の用紙のご使用をお願いします。	
用紙厚	80 〜 190 μ m（0.08 〜 0.19mm）	
用紙サイズ	連続　長さ：15 〜 397mm（18 〜 400mm） 　　　幅　：25 〜 115mm（28 〜 118mm） ティアオフ　長さ：27 〜 397mm（30 〜 400mm） 　　　幅　：25 〜 115mm（28 〜 118mm） カッタ　長さ：20 〜 397mm（23 〜 400mm） 　　　幅　：25 〜 115mm（28 〜 118mm） パーシャルカット　長さ：20 〜 397mm（23 〜 400mm） 　　　幅　：25 〜 115mm（28 〜 118mm） ハクリ　長さ：20 〜 120mm（23 〜 123mm） 　　　幅　：25 〜 115mm（28 〜 118mm） ノンセパ　長さ：30 〜 123mm 　　　幅　：32 〜 110mm ※（　）は台紙サイズ ※発行枚数や用紙、使用条件によってサイズを制限する場合があります。	
用紙外径 / 支管サイズ	ロール紙 　用紙外径：最大 115mm 　支管内径：40mm（1.5 インチ） 　巻き方向：表巻き ファンフォールド紙 　最大積み高さ：最大 100mm	
リボン種類	当社純正のカーボンリボンのご使用をお願いします。	

モデル名	ip-66/ip-206	ip-226
リボンサイズ / リボン形態 / リボン巻方向	リボン長　：最大 100m 巻 リボン幅　：最大 111mm 巻き方向　：表巻き 巻取り方式：支管巻取り	
発行モード	標準　　　：連続、ティアオフ オプション：カッタ、パーシャルカット、ハクリ、ノンセパ	
寸法 / 重量	幅 198mm ×奥行き 247mm ×高さ 181mm/ 約 3.2kg （AC アダプタ除く）	
電源仕様	AC アダプタを使用 　入力電圧：AC100 ～ 240V 　出力電圧：DC24V, 2.7A バッテリを使用 　定格電圧・容量　　DC24V・7.3Ah 消費電力：ピーク時 97W/151VA（印字率 30%） 　　　　　待機時 7W/15VA	
環境条件 （温度 / 湿度）	動作周囲温度　5 ～ 35℃ 　　　　湿度　30 ～ 80%RH（ただし、結露無きこと） 保存周囲温度　-5 ～ 60℃ 　　　　湿度　30 ～ 90%RH（ただし、結露無きこと） ※ 上記の条件は、サプライ製品によって異なる場合があります。	
インタフェース	USB、LAN、RS-232C	
オプションインタフェース	① IEEE1284 キット ② 無線 LAN キット（802.11b/g/n 自動切替え） ※ オプションインタフェース使用時は、USB ケーブルを接続しないでください。	
オプション	① カッタユニット ② ハクリユニット ③ ノンセパキット（ip-66 のみ） ④ SD カード ⑤ 外部バッテリ ⑥ バッテリ電圧安定器 ⑦ 外部バッテリチャージャー	
操作キー	キー：ON LINE、FEED LED：POWER、ON LINE、ERROR、エラー表示ランプ	

モデル名	ip-66/ip-206	ip-226
レベル調整	①用紙センサ調整 ②印字位置調整 ③印字濃度調整 ④ティアオフ / ハクリ / カッタ停止位置調整 ※印字濃度調整とティアオフ / ハクリ / カッタ停止位置調整は DSW6 で切替え	
用紙長検出センサ	① アイマークセンサ（反射タイプ） ② ギャップセンサ（透過タイプ）	
バーコード	UPC-A/UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128（UCC/EAN128）、CODABAR（NW-7）、ITF、 インダストリアル 2of5、マトリックス 2of5、カスタマバーコード、 UPC アドオンコード、 GS1 DataBar Omnidirectional、 GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、 GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked ※GS1 DataBar は RSS のことです。	
2 次元コード	QR コード、マイクロ QR、セキュリティ QR、PDF417、 マイクロ PDF、MAXI コード、GS1 データマトリックス（ECC200）	
合成シンボル	EAN-13 Composite、EAN-8 Composite、 UPC-A Composite、UPC-E Composite、 GS1 DataBar Composite GS1 DataBar Truncated Composite、 GS1 DataBar Stacked Composite、 GS1 DataBar Stacked Omnidirectional Composite、 GS1 DataBar Limited Composite、 GS1 DataBar Expanded Composite、 GS1 DataBar Expanded Stacked Composite、 GS1-128 Composite ※GS1 DataBar は RSS のことです。 ※GS1-128 は、UCC/EAN128 のことです。	

<table>
<tr><th colspan="2">モデル名</th><th>ip-66/ip-206</th><th>ip-226</th></tr>
<tr><td rowspan="4">標準搭載
フォント</td><td rowspan="3">ビットマップ
フォント</td><td colspan="2">X20 文字　5 × 9dot（英数字、記号、カナ）
X21 文字　17 × 17dot（英数字、記号、カナ）
X22 文字　24 × 24dot（英数字、記号、カナ）
X23 文字　48 × 48dot（英数字、記号、カナ）
X24 文字　48 × 48dot（英数字、記号、カナ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">漢字 16 × 16dot（JIS 第 1 水準、第 2 水準　角ゴシック体）
漢字 22 × 22dot（JIS 第 1 水準、第 2 水準　角ゴシック体）
漢字 24 × 24dot（JIS 第 1 水準、第 2 水準　角ゴシック体）
※日本語（JIS X208 準拠）</td></tr>
<tr><td>OCR-A　15 × 22dot
（英数字、記号）
OCR-B　20 × 24dot
（英数字、記号）</td><td>OCR-A　22 × 33dot
（英数字、記号）
OCR-B　30 × 36dot
（英数字、記号）</td></tr>
<tr><td>アウト
ライン
フォント</td><td colspan="2">英数字、記号、カナ</td></tr>
<tr><td colspan="2">印字方向</td><td colspan="2">文字　　　：0°、90°、180°、270°
バーコード：パラレル 1（0°）、パラレル 2（180°）、
シリアル 1（90°）、シリアル 2（270°）</td></tr>
<tr><td colspan="2">バーコード比率</td><td colspan="2">1:2、1:3、2:5、任意指定可能</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡大倍率
（文字・バーコード）</td><td colspan="2">文字　　　：縦 1 〜 12 倍、横 1 〜 12 倍
バーコード：1 〜 12 倍</td></tr>
<tr><td colspan="2">搭載機能</td><td colspan="2">① ステータス返送機能
② グラフィック機能
③ 連番機能
④ フォームオーバレイ機能
⑤ 外字登録機能
⑥ 文字補正機能
⑦ 白黒反転機能
⑧ 罫線機能
⑨ ゼロスラッシュ切替機能
⑩ JIS/ シフト JIS 切替機能
⑪ ダンプリスト機能
⑫ アウトラインフォント機能
⑬ アウトライン変形機能</td></tr>
</table>

モデル名		ip-66/ip-206	ip-226
自己診断機能		① ヘッド切れチェック ② カバーオープン検出 ③ ペーパーエンド検出 ④ リボンエンド検出（ip-206/ip-226 のみ） ⑤ リボンニアエンド検出（ip-206/ip-226 のみ） ⑥ テスト印字 ⑦ 漢字 ROM チェック ⑧ ローバッテリ検出（バッテリ使用時） ⑨ サーマルヘッド過熱保護機能 ⑩ AC アダプタ保護機能	
ノイズ（EMC）規格		VCCI Class B	
無線規格	無線 LAN （2.45GHz）	電波法 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの認証	

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- SD ロゴは商標です。

13 廃棄方法についてのご案内

平素は当社製品に格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。
当社製品使用後の廃棄方法についてご案内いたします。
廃棄については、法を順守し処理することをお願い申し上げます。
（法とは、各市町村における条例も含みます。）
以下については本機に関して、法に則った廃棄方法をご説明いたします。

＝廃棄方法＝

1）一般のユーザーが個人として廃棄する場合について

●各市町村で定められた廃棄方法に準じて処理します。
●基本的には燃えるごみではないことに注意が必要です。（燃えないごみとして処理）
●一般的には、危険物、不燃物とし、曜日を定めて無料で回収するケースと、担当窓口に依頼をして有料で引取りしてもらうケースがありますので、該当する市町村の公報等でご確認ください。

2）企業のユーザーが企業内で廃棄する場合について
（以下は基本的に業者に委託して廃棄する場合です）

●本機は、プラスチック、金属、ゴム、電子基板、で構成されています。 これらの機器構成となっていることを踏まえてマニフェストに内容を記載して産業廃棄物処理業者へ依頼してください。
●マニフェストに記載する内容については、種類（普通の産業廃棄物）は「廃プラスチック類」を選択し、産業廃棄物の名称に「プリンタ」備考・通信欄に「金属混合」の追記をおこなってください。
●詳細につきましては各地方自治体の産業廃棄物処理規定に従っておこなってください。また、産業廃棄物処理業者によってプリンタの処理内容が異なる場合が有りますので、指導に従って処理をおこなってください。

KOBAYASHI

Q04177001